遺伝的多様性の把握
～生態系保全のため、地域間の差を調べてみませんか？～

同一種であっても、遺伝子的な隔離が起こっていることがあります。地点ごとに遺伝的に独立しているか、あるいは交雑が起きているかを調べる方法です。

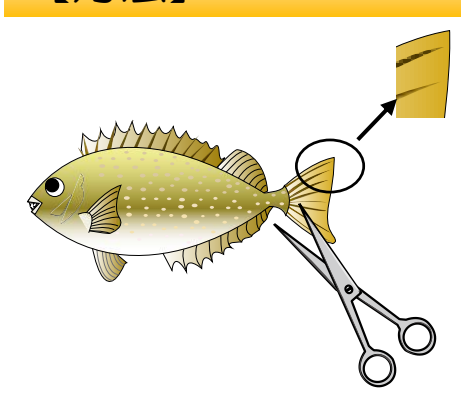
【遺伝的多様性とは】

塩基配列の中には、塩基の変換速度が速い領域が存在し、地域間で塩基配列に差が生じることもあります。遺伝的多様性の把握とは、その塩基の違いから地域間のグループの違いを把握する方法です。

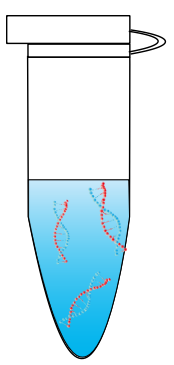
遺伝的多様性を調べることで、以下のことがわかります。

- **保全するべき地域の特定！**：遺伝的に特異的なグループ（例：交雑が起きていないなど）が生息する地域は、該当生物にとっては重要な場であり、保全することが大切です。

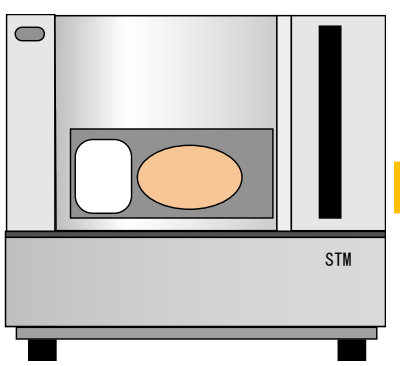
【方法】



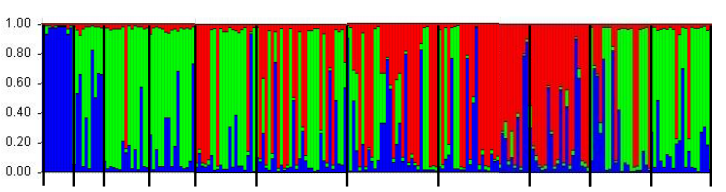
（採取）

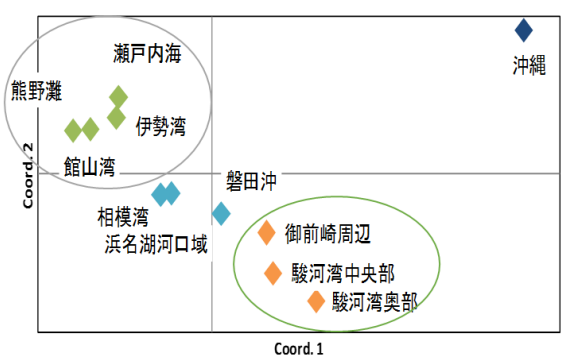


（DNA抽出）



（分析）





（解析）

【調査例】

（アイゴ（藻食魚）の遺伝的構造調査）

- 遺伝的な違いを把握することで、各地の個体群の独立性や相似性を調べます。
- 保全事業や駆除事業の基礎情報として利用することができます。

（引用元）
- 塩谷ら（2014）御前崎周辺海域におけるアイゴ個体群構造の特性．平成26年度日本水産学会春季大会講演要旨集、624.

～遺伝子技術に興味がございましたら、ぜひご相談ください～

SANYO TECHNO MARINE
三洋テクノマリン(株)
TEL：03-3666-3417（代表）
E-mail：sanyo@stm.co.jp
HP：http://www.stm.co.jp/